【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成21年4月23日(2009.4.23)

【公表番号】特表2008-547063(P2008-547063A)
【公表日】平成20年12月25日(2008.12.25)
【年通号数】公開・登録公報2008-051
【出願番号】特願2008-519366(P2008-519366)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｆ　7/20　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/13　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/1334　(2006.01)
Ｇ０９Ｆ　9/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｆ　7/20　５０１
Ｇ０２Ｆ　1/13　１０１
Ｇ０２Ｆ　1/13　５０５
Ｇ０２Ｆ　1/1334
Ｇ０９Ｆ　9/00　３４２Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成21年3月4日(2009.3.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも2つの光源を含む硬化集成体であって、前記少なくとも2つの光源のそれぞれがスペクトルを有しており、前記少なくとも2つの光源のそれぞれの前記スペクトルが1つの光路に合体され、そして前記少なくとも2つの光源が、前記1つの合体光路に暴露された材料を硬化させることができる、硬化集成体。
【請求項２】
前記少なくとも2つの光源が、少なくとも1つの短波長UVバルブ、及び少なくとも1つの長波長UVバルブである請求項1に記載の硬化集成体。
【請求項３】
硬化性材料を用意し；そして
前記硬化性材料を、硬化集成体からの合体光路に暴露することを含み、前記硬化集成体は少なくとも2つの光源を含み、前記少なくとも2つの光源のそれぞれがスペクトルを有しており、前記少なくとも2つの光源のそれぞれの前記スペクトルが1つの光路に合体され、そして前記少なくとも2つの光源が、前記1つの合体光路に暴露された材料を硬化させることができる、
材料を硬化させる方法。